

**平成21年12月期
第3四半期決算説明資料**

2009年10月

昭和シェル石油



注意事項

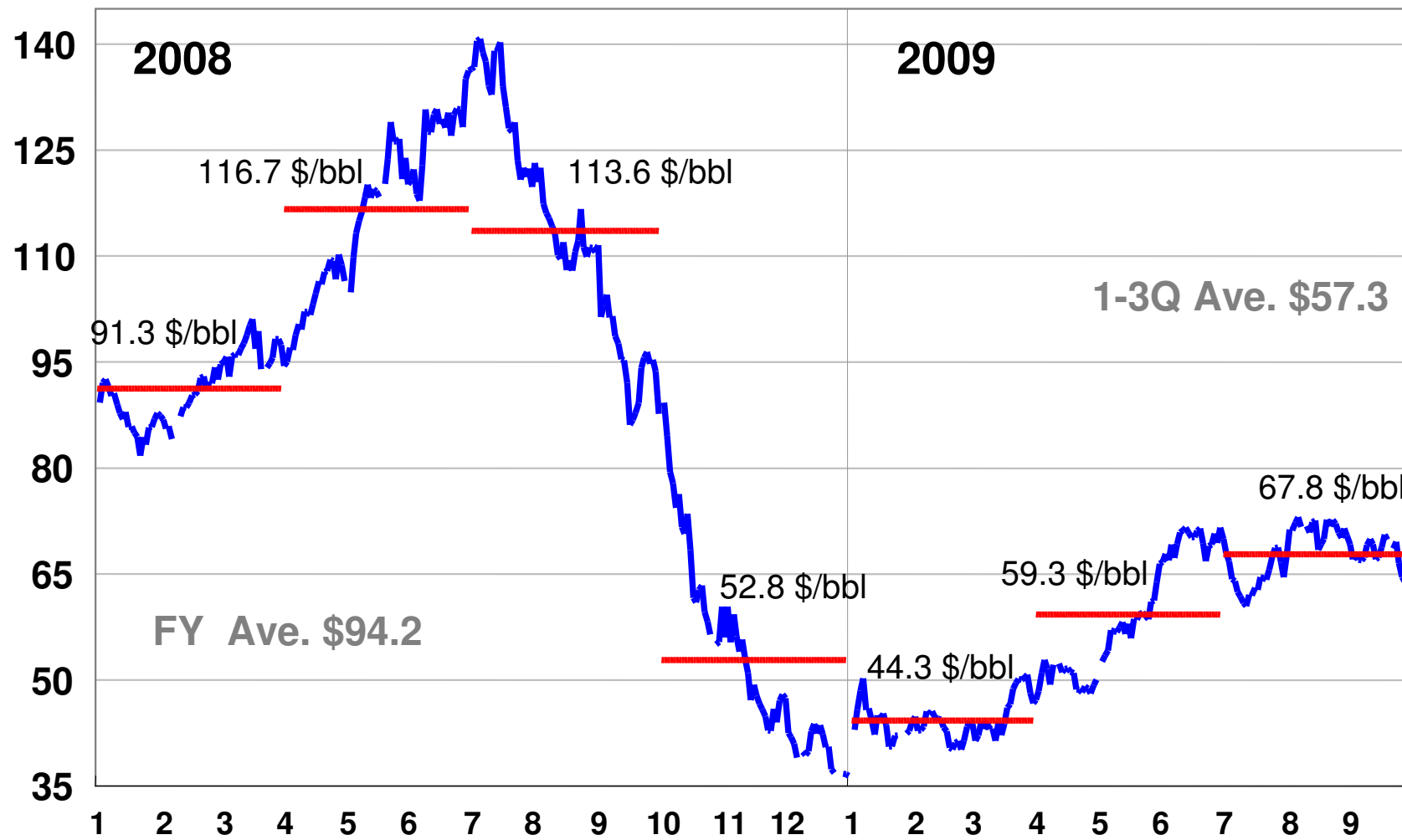
この資料には、当社グループ（当社及び連結子会社）の将来についての計画や戦略、業績に関する予想、見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、経済情勢や市場動向、並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性がありますので、予めご了承下さい。

ドバイ原油価格の推移

USD/bbl



原油価格と為替レート

		2008年実績	2008年		2009年	
			1-9月実績	1-6月実績	7-9月実績	1-9月実績
ドバイ原油価格	(USドル/バレル)	94.2	107.4	51.9	67.8	57.3
為替レート	(¥/USドル)	103.5	105.8	95.6	93.7	95.0

連結損益計算書ハイライト

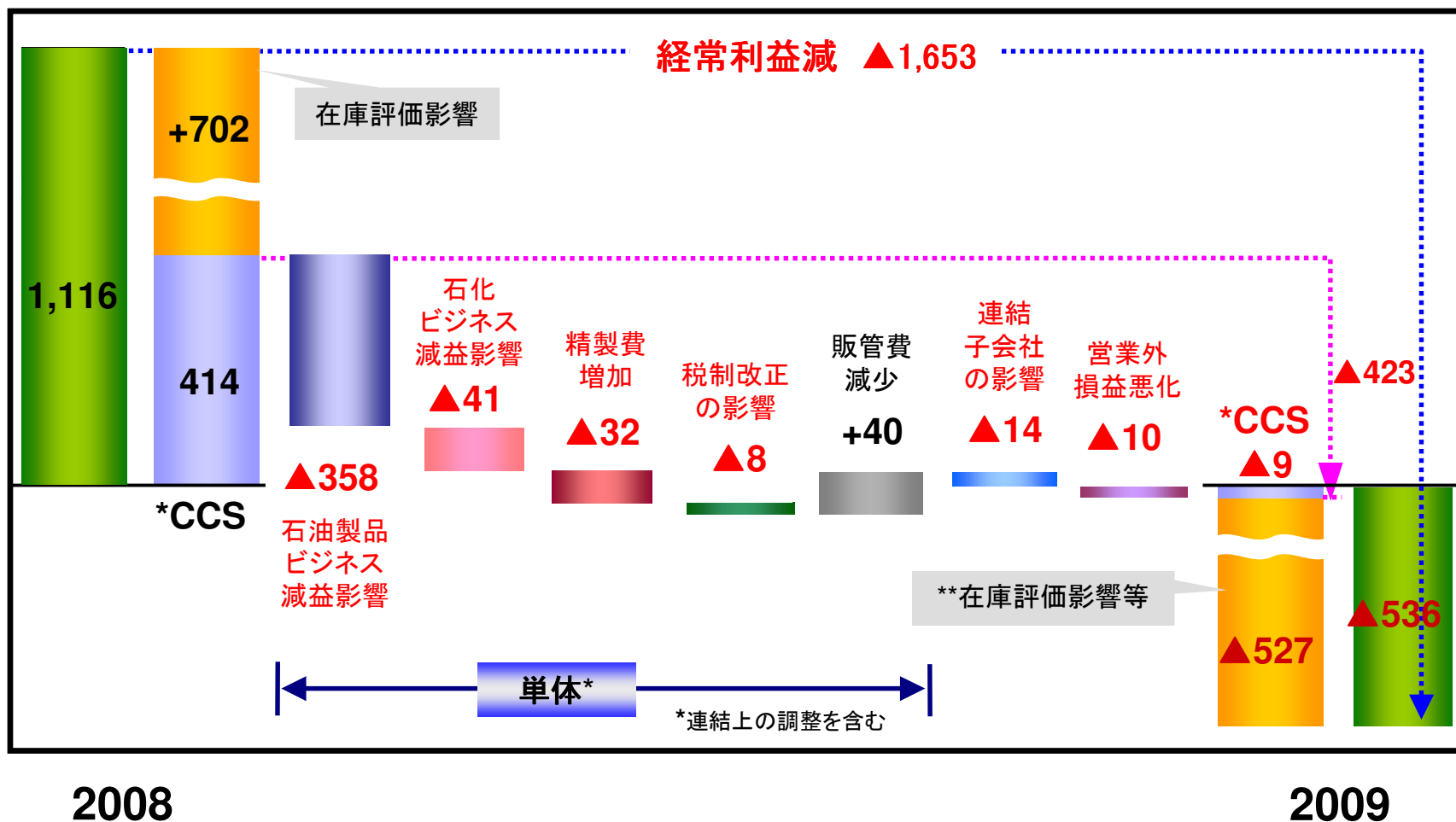
		2008年		増減	前年同期比 (%)
		1-9月実績	2009年 1-9月実績		
売上高	百万円	2,587,663	1,451,795	- 1,135,868	-43.9%
営業利益	百万円	110,104	-54,150	- 164,254	-
経常利益	百万円	111,637	-53,668	- 165,306	-
四半期純利益	百万円	62,143	-34,527	- 96,671	-
※CCSベース営業利益	百万円	39,928	-1,419	- 41,347	-
※CCSベース経常利益	百万円	41,461	-937	- 42,399	-

【注】 カレント・コスト・オブ・サブライ (CCS) ベースの収益： たな卸資産の評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

- 平成21年度第3四半期連結累積業績は、売上高1兆4,517億円（前年同期比▲43.9%）、経常利益は期初のたな卸資産が売上原価を押し上げ、▲536億円（同▲1,653億円）となった。たな卸資産評価影響を除く実質経常利益は▲9億円（同▲423億円）となった。
- 石油製品ビジネスは前年同期比大幅な減益となった。国内についてはガソリン需要の減退や物流の低迷を背景に、販売数量が減少するとともにマージンが悪化したことが減益要因となった。輸出については前年同期並みの数量を出荷したものの、国際マーケットにおける需給が緩和し、マージンが悪化したことが減益要因となった。
- 石化ビジネスは前年同期比減益となった。定修や減産により販売数量が減少したことに加え、需要の回復が鈍く、マージンが悪化したことが減益要因となった。
- 事業環境を踏まえ、通期の連結業績予想を売上高2兆600億円、経常利益▲450億円に修正する。なお、たな卸資産評価影響を除く通期の実質経常利益予想は0億円に修正する。

(単位: 億円)

(連結ベース)



* CCS: Current Cost of Supply (在庫評価の影響を除いたもの)
 ** 「在庫評価影響等」には、たな卸資産の簿価切下げによる影響を含む。

原油価格と為替レート

		2008年 実績	2009年前回予想(7月発表)			2009年予想(今回修正)		
			1-6月実績	7-12月予想	1-12月予想	1-9月実績	10-12月予想	1-12月予想
ドバイ原油価格	(USドル/バレル)	94.2	51.9	70.0	61.0	57.3	73.0	61.0
為替レート	(¥/USドル)	103.5	95.6	95.0	95.0	95.0	90.0	94.0

連結業績予想

		2008年 実績	2009年			前年同期比 (%)
			7月発表予想	今回修正予想	修正値	
売上高	百万円	3,272,801	2,140,000	2,060,000	- 80,000	-37.1%
営業利益	百万円	-12,283	-25,000	-45,000	- 20,000	-
経常利益	百万円	-10,065	-27,000	-45,000	- 18,000	-
当期純利益	百万円	-16,221	-17,000	-32,000	- 15,000	-
※CCSベース営業利益	百万円	43,480	17,000	0	- 17,000	-
※CCSベース経常利益	百万円	45,697	15,000	0	- 15,000	-